



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 センコーグループホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9069 U R L <https://www.senkogrouphd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 泰久
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 広報・IR担当 (氏名) 吉村 伸三 T E L 03-6862-8842
 配当支払開始予定日 一
 決算補足説明資料作成の有無: 有
 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	673,608	4.9	28,762	△0.5	27,573	△2.7	15,288	△4.9

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 18,042百万円 (△5.5%) 2025年3月期第3四半期 19,095百万円 (△5.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 89.50	円 銭 89.15
2025年3月期第3四半期	105.88	94.52

(注) 2025年3月期第4四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年3月期第3四半期	百万円 779,497	百万円 241,277	% 27.9	円 銭 1,299.53
2025年3月期	718,739	243,216	30.2	1,271.24

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 217,354百万円 2025年3月期 217,053百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 23.00	円 銭 —	円 銭 23.00	円 銭 46.00
2026年3月期	—	25.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 898,000	% 5.1	百万円 37,000	% 5.9	百万円 35,000	% 3.6	百万円 19,200	% 3.2	円 銭 112.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) 株式会社ベリテ、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

- | |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） |

2026年3月期3Q	175,692,457株	2025年3月期	175,692,457株
2026年3月期3Q	8,436,252株	2025年3月期	4,951,738株
2026年3月期3Q	170,817,223株	2025年3月期3Q	151,905,669株

2018年3月期第3四半期連結会計期間より、期末自己株式には、株式付与ＥＳＯＰ信託口の保有する当社株式（2026年3月期3Q 777,229株、2025年3月期 795,512株）及び役員報酬ＢＩＰ信託口の保有する当社株式（2026年3月期3Q 747,655株、2025年3月期 782,106株）を含めております。また、2023年3月期第4四半期連結会計期間より、期末自己株式には、従業員持株会支援信託ＥＳＯＰの保有する当社株式（2026年3月期3Q 2,104,300株、2025年3月期 2,913,300株）を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、【添付資料】4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象の注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日 以下「当第3四半期」）における経済環境は、米国の通商政策の影響による輸出産業への逆風などがあるものの、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えました。一方で、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れなどを通じて、個人消費に及ぼす影響など景気を下押しするリスクが懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当第3四半期の連結業績は、以下のとおりです。

(百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
営業収益	641,867	673,608	31,741	4.9%
営業利益	28,895	28,762	△133	△0.5%
経常利益	28,331	27,573	△757	△2.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,083	15,288	△795	△4.9%

継続的な物価・人件費などのコスト上昇など、不安定な事業環境が継続しておりますが、拡販ならびに料金・価格改定などにグループ全体で取り組むと共に、M&Aの収益寄与があったことなどにより、営業収益は前期を上回る結果となりました。

営業利益につきましては、人件費の上昇や管理コストの増加などにより、対前年同期比減益となりました。

経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、支払利息の増加などにより、それぞれ減益となりました。

当第3四半期のセグメント別の状況は以下のとおりです。

(物流事業)

(百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
営業収益	413,104	431,257	18,153	4.4%
セグメント利益	26,190	26,490	299	1.1%

拡販ならびに料金改定に取り組むとともに、M&Aの収益寄与があったことなどにより、営業収益は4,312億57百万円と対前年同期比181億53百万円の増収、セグメント利益は264億90百万円と対前年同期比2億99百万円の増益となりました。

(商事・貿易事業)

(百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
営業収益	133,440	143,081	9,640	7.2%
セグメント利益	2,273	2,498	225	9.9%

M&Aの収益寄与や、価格改定ならびに拡販などに努めたことなどにより、営業収益は1,430億81百万円と対前年同期比96億40百万円の増収、セグメント利益は24億98百万円と対前年同期比2億25百万円の増益となりました。

(ライフサポート事業)

(百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
営業収益	46,868	50,587	3,719	7.9%
セグメント利益	1,129	1,542	413	36.6%

前期に実施したM&Aの収益寄与ならびに、新規出店効果などによる利用者数・来店者数の増加影響などにより、営業収益は505億87百万円と対前年同期比37億19百万円の増収、セグメント利益は15億42百万円と対前年同期比4億13百万円の増益となりました。

(ビジネスサポート事業)

(百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
営業収益	11,263	12,634	1,370	12.2%
セグメント利益	2,094	2,106	12	0.6%

M&Aの収益寄与や、拡販ならびにホテル事業の改善などに努めたことなどにより、営業収益は126億34百万円と対前年同期比13億70百万円の増収、セグメント利益は21億6百万円と対前年同期比12百万円の増益となりました。

(プロダクト事業)

(百万円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額	増減率
営業収益	36,850	35,711	△1,139	△3.1%
セグメント利益	373	664	290	77.8%

物価上昇による節約志向の高まりなどによる販売数量の減少などにより、営業収益は357億11百万円と対前年同期比11億39百万円の減収となりましたが、価格改定を進め、生産性向上・効率化に努めたことなどにより、セグメント利益は6億64百万円と対前年同期比2億90百万円の増益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、7,794億97百万円となり、前期末に比べ607億57百万円増加いたしました。

流動資産は、2,623億99百万円となり、前期末に比べ331億71百万円増加いたしました。これは、現金及び預金が150億2百万円、受取手形、営業未収入金及び契約資産が139億7百万円、商品及び製品が14億94百万円、その他流動資産が24億54百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、5,170億13百万円となり、前期末に比べ276億3百万円増加いたしました。これは、有形固定資産が181億49百万円、無形固定資産が47億82百万円、投資その他の資産が46億71百万円増加したことなどによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、5,382億19百万円となり、前期末に比べ626億96百万円増加いたしました。

流動負債は、1,784億97百万円となり、前期末に比べ61億82百万円減少いたしました。これは、支払手形及び営業未払金が87億76百万円、その他流動負債が83億2百万円増

加したものの、1年内償還予定の社債が100億円、短期借入金が43億29百万円、未払法人税等が59億27百万円、賞与引当金が34億18百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、3, 597億22百万円となり、前期末に比べ688億79百万円増加いたしました。これは、社債が350億円、長期借入金が286億67百万円、長期リース債務が14億1百万円、繰延税金負債が17億59百万円、その他固定負債が22億24百万円増加したことなどによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、2, 412億77百万円となり、前期末に比べ19億39百万円減少いたしました。これは、利益剰余金が68億14百万円、その他有価証券評価差額金が17億5百万円増加したものの、自己株式が75億5百万円、非支配株主持分が22億7百万円減少したことなどによるものです。自己資本比率は前期末から2.3ポイント低下し、27.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年11月13日の「2026年3月期第2四半期（中間期）決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想と変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	70,305	85,308
受取手形、営業未収入金及び契約資産	113,107	127,015
商品及び製品	21,883	23,377
仕掛品	833	869
原材料及び貯蔵品	2,771	3,061
その他	20,412	22,866
貸倒引当金	△86	△100
流动資産合計	229,227	262,399
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	138,228	162,075
土地	132,034	133,977
その他（純額）	92,209	84,567
有形固定資産合計	362,471	380,621
無形固定資産		
のれん	22,055	24,366
その他	16,264	18,735
無形固定資産合計	38,319	43,101
投資その他の資産		
投資有価証券	27,045	29,248
退職給付に係る資産	22,964	23,691
差入保証金	20,669	22,216
繰延税金資産	6,209	5,727
その他	12,630	13,312
貸倒引当金	△898	△905
投資その他の資産合計	88,619	93,290
固定資産合計	489,410	517,013
繰延資産		
開業費	101	83
繰延資産合計	101	83
資産合計	718,739	779,497

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	58,800	67,577
電子記録債務	6,838	6,946
1年内償還予定の社債	10,000	—
短期借入金	42,277	37,948
リース債務	10,127	10,514
未払法人税等	8,905	2,977
賞与引当金	9,132	5,713
その他の引当金	1,528	1,446
その他	37,070	45,373
流動負債合計	184,680	178,497
固定負債		
社債	50,000	85,000
長期借入金	174,479	203,146
リース債務	33,587	34,988
退職給付に係る負債	9,279	9,271
繰延税金負債	11,786	13,546
その他の引当金	1,960	1,793
その他	9,750	11,975
固定負債合計	290,842	359,722
負債合計	475,523	538,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	39,483	39,483
資本剰余金	41,100	40,545
利益剰余金	123,051	129,866
自己株式	△4,994	△12,499
株主資本合計	198,641	197,395
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,754	4,460
繰延ヘッジ損益	△29	104
為替換算調整勘定	7,596	8,021
退職給付に係る調整累計額	8,090	7,372
その他の包括利益累計額合計	18,411	19,959
新株予約権	328	294
非支配株主持分	25,834	23,627
純資産合計	243,216	241,277
負債純資産合計	718,739	779,497

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業収益	641,867	673,608
営業原価	538,725	565,309
営業総利益	103,141	108,299
販売費及び一般管理費	74,245	79,536
営業利益	28,895	28,762
営業外収益		
受取利息	277	265
受取配当金	260	252
持分法による投資利益	297	200
受取地代家賃	368	389
その他	1,201	1,547
営業外収益合計	2,404	2,654
営業外費用		
支払利息	2,292	3,180
その他	677	662
営業外費用合計	2,969	3,843
経常利益	28,331	27,573
特別利益		
補助金収入	720	1,167
固定資産売却益	416	221
投資有価証券売却益	45	132
保険解約返戻金	—	109
負ののれん発生益	1,111	—
その他	40	40
特別利益合計	2,333	1,671
特別損失		
固定資産圧縮損	620	1,167
関係会社出資金評価損	—	510
減損損失	1,538	183
固定資産除却損	224	128
固定資産売却損	36	34
事業所撤退損	303	—
その他	—	237
特別損失合計	2,722	2,261
税金等調整前四半期純利益	27,942	26,983
法人税、住民税及び事業税	10,082	8,960
法人税等調整額	248	1,689
法人税等合計	10,331	10,649
四半期純利益	17,611	16,333
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,527	1,045
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,083	15,288

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	17,611	16,333
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53	1,903
繰延ヘッジ損益	△28	142
為替換算調整勘定	1,664	550
退職給付に係る調整額	△396	△707
持分法適用会社に対する持分相当額	298	△179
その他の包括利益合計	1,484	1,709
四半期包括利益	19,095	18,042
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,124	16,835
非支配株主に係る四半期包括利益	1,970	1,207

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年12月4日開催の取締役会決議に基づき、自己株式4,464,200株の取得を行いました。この取得などにより、当第3四半期連結累計期間において自己株式が8,500百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が12,499百万円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	22,121百万円	24,230百万円
のれんの償却額	1,982	2,114

（注）前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結累計期間の数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	商事・貿易 事業	ライフ サポート 事業	ビジネス サポート 事業	プロダクト 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	413, 104	133, 440	46, 868	11, 263	36, 850	641, 527	339	641, 867
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	3, 563	12, 020	159	7, 184	21	22, 948	△22, 948	—
計	416, 668	145, 460	47, 027	18, 447	36, 871	664, 476	△22, 608	641, 867
セグメント利益	26, 190	2, 273	1, 129	2, 094	373	32, 062	△3, 166	28, 895

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への営業収益は、持株会社である当社で計上したものであります。

(2) セグメント利益の調整額△3, 166百万円は、セグメント間取引消去△25百万円及び各報告セグメントに帰属しない全社費用△3, 140百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「商事・貿易事業」セグメント及び「ライフサポート事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、「商事・貿易事業」セグメントで1, 218百万円、「ライフサポート事業」セグメントで319百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「商事・貿易事業」セグメント及び「ライフサポート事業」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上したため、のれんの金額が減少しております。当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間において、「商事・貿易事業」セグメントで958百万円、「ライフサポート事業」セグメントで319百万円であります。

なお、上記（固定資産に係る重要な減損損失）に当該のれんの減損も含めて記載しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	商事・貿易 事業	ライフ サポート 事業	ビジネス サポート 事業	プロダクト 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	431,257	143,081	50,587	12,634	35,711	673,272	336	673,608
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	3,791	12,638	213	9,455	20	26,118	△26,118	—
計	435,049	155,719	50,800	22,089	35,731	699,391	△25,782	673,608
セグメント利益	26,490	2,498	1,542	2,106	664	33,303	△4,540	28,762

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) 外部顧客への営業収益は、持株会社である当社で計上したものであります。
 - (2) セグメント利益の調整額△4,540百万円は、セグメント間取引消去△510百万円及び各報告セグメントに帰属しない全社費用△4,030百万円であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 3. 前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第3四半期連結累計期間の数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「物流事業」セグメント及び「ライフサポート事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、「物流事業」セグメントで118百万円、「ライフサポート事業」セグメントで65百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「商事・貿易事業」セグメントにおいて、株式会社ベリテの株式を新たに取得したことにより、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては2,511百万円であります。なお、のれんの金額は、当第3四半期連結累計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

「物流事業」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上したため、のれんの金額が減少しております。当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間において、118百万円であります。

なお、上記（固定資産に係る重要な減損損失）に当該のれんの減損も含めて記載しております。

また、2024年3月26日に行われたSimon Transport Pty. Ltd.との企業結合について、取得原価の配分が完了していなかったため、のれんの金額は暫定的に算出された金額であります。前連結会計年度に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定したため、「物流事業」セグメントにおいてのれんの金額を修正しております。

(重要な後発事象の注記)

当社は、2025年11月13日開催の取締役会において、株式会社丸運の普通株式を公開買付け（以下、「本公開買付け」）により取得することを決定し、2026年1月26日に本公開買付けを開始しました。

なお、詳細につきましては、2026年1月23日に公表いたしました「株式会社丸運（証券コード：9067）に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」をご参照ください。